

令和5年度 第1回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

- 1 会議の日時 令和5年5月15日(月) 午後2時00分～午後3時20分
- 2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 702号室
- 3 出席委員 委員長 櫻井 敬子(弁護士)
(委員数4) 委員 太田 成紀(公認会計士)
委員 竹内 孝治(大学准教授)
委員 齊藤 由里恵(大学准教授)
- 4 出席した事務局職員
戸谷総務部長
松谷契約課長
金原主幹、三島主任主査、岩井主任主査
水越主任主査、大竹主査、佐藤主査

5 概 要

- (1) 委嘱状交付
- (2) 総務部長あいさつ
- (3) 委員長互選
- (4) 報告事項
 - ・入札制度の変更点(令和5年4月～)
 - ・入札及び契約手続の運用状況(対象期間:令和5年1月～3月)
 - ・入札参加停止の状況(対象期間:令和5年1月～3月)
- (5) 抽出対象工事等の審議
対象期間:令和5年1月～3月
 - ・一般競争入札 5件
 - ・指名競争入札 3件
 - ・随意契約 1件
- (6) その他
 - ・次回の定例会議について
次回の定例会議の日程は令和5年8月3日(木)午後2時からとなった。

<主な質疑>

質 問・意 見	回 答
<p>【抽出案件の審議】</p> <p><u>1 榎山大橋 橋りょう耐震補強詳細設計業務（岡崎市榎山町地内）</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p> <p>○電子入札を行ったと聞いたが、電子入札の対象は何か。</p> <p>○辞退とはどういうことか。</p>	<p>○本業務は、橋脚のある橋梁について、耐震性や道路の重要性等から耐震対策の優先度を評価して策定した耐震補強計画に基づき、榎山大橋の橋梁下部対策として橋脚の耐震補強詳細設計を実施するものです。</p> <p>2者入札参加申請がありましたが1者辞退しています。落札した「中央コンサルタント株式会社」は、過去にも岡崎市発注の他の橋りょう耐震補強詳細設計業務を複数落札しており、受注意欲が高く、また、電子入札による一般競争入札であるため、架空の相手と競争し、結果落札率が低くなったと推測されます。</p> <p>○契約課で行う入札は全て電子入札です。それ以外の単価契約などの担当課で行う入札については集合及び郵便による紙入札を行っています。</p> <p>○入札参加申請を行った後に入札に参加しない意思表示をしたことを辞退としています。参加申請はしたものの入札金額を積算した結果、金額が折り合わない場合に辞退が散見されます。</p>
<p><u>2 岡崎市役所本庁舎設備総合保守管理業務（岡崎市朝日町ほか3箇町地内）</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p>	<p>○本業務は、市役所本庁舎である東庁舎、西庁舎、福社会館、西庁舎南棟、分館及び東駐車場の、電気・空調・給排水設備の運転管理及び保守点検を委託するものです。</p> <p>業務としては、電気事業法により第3種電気主任技術者を選任し、また、電気、空調設備管理経験者を運転員として常駐させ、また定期的な保守、電気設備等の法定点検を行う</p>

3 岡崎市民病院手術部門運営支援業務(岡崎市民高隆寺町地内)

○落札率が高い要因は何か。

○見積りは何者から徴取するのか。

4 パーク&ライド駐車場警備等委託業務(岡崎市民高隆寺町ほか2箇町地内)

○落札率が高い要因は何か。

5 道路整備工事(岡崎市民六名南二丁目ほか1箇町地内 市道天白町1号線)

○参加者が多い要因は何か。

ものです。

今回落札した業者「日本管財株式会社 中部本部」ですが、過去3カ年、同業務を受託しており、業務履行にあたってのノウハウも蓄積し受注意欲も高いことから、落札率が低くなったと推測されます。

○予定価格の積算にあたっては、市に歩掛がなく、設計することが困難であるため、業者見積によるものですが、2者見積を徴取し、その最低価格で予定価格を設定しているものです。

下見積を徴取した事業者が落札したため、100%の結果となったと推測されます。

○複数者から徴取するように担当課に伝えてあります。具体的に何者という基準はなく、案件によります。

○本業務は、桜まつりの道路渋滞対策として、今年度初の試みで実施したシャトルバス運行業務に関連する、各臨時駐車場の車両誘導、駐車場設営業務です。

落札率の高い理由としましては、桜まつり関係の各地イベントが集中し、警備業界の人手不足が発生していたこと、また、シャトルバス運行に関して内部検討に時間を要したことにより、発注自体が3月7日入札とやや遅かったことから、業務遂行に必要な資機材の準備等に要する時間が短く、各事業者の受注意欲が低かったことが推察されます。

○本工事は、地元からの要望により老朽化した道路側溝の布設替え及び舗装の打替えを

○同額な入札金額が提出された場合に落札業者はどのように決まるのか。

6 岡崎市立大門小学校教室改修工事(岡崎市大門四丁目地内)

○不調になった要因(有効な入札参加者がいなかった要因)は何か。

○市側の積算と業者側の積算に大きな乖離が生じる理由は何か。

7 送水管布設工事(岡崎市欠町ほか1箇町地内)

○契約金額が高い要因は何か。

行う工事です。

22 者の参加申込があり、9 者最低制限価格を下回り失格、1 者棄権となっています。一般的な道路整備工事のため難易度も低く、債務負担行為で発注された工事であるため、実際の工事着手は手持ち工事が無くなる4 月以降の工事着手となり、仕事を確保するため参加者が多くなったと思われます。

○愛知県下の自治体が利用する共同システムで電子くじを行い、落札業者を決定しています。くじを行うことは地方自治法に規定されています。

○本工事は、令和5年度の学級数の増加に伴う教室不足を解消する工事であり、普通教室(特支)のオーディオンカーテン、室名札の設置と廊下に手洗い場を設け、それに伴う電気設備及び給排水衛生設備の改修工事になります。

4 者の参加申込がありましたが、3 者辞退、1 者が予定価格超過により無効となったため、不調となりました。そのため市の単価と業者の単価に乖離があることが推察されます。その後、単価の見直しを行い、4 者の中から令和5年3月30日までに施工可能な業者と随意契約を締結しました。

○再度、調査のうえ回答します。

○本工事は、主要管路である男川浄水場から根石配水場への送水管を耐震化するものです。

工事内容として直径700mmのダクタイル鋳鉄管を約630mと水道管としては大口

径の管を布設するため契約金額が高くなりました。2者が入札に参加し、1者が入札参加資格条件の評定値を下回っていたことから失格となったため、武田機工株式会社が落札しました。

8 図書館交流プラザ設備総合保守管理業務 (岡崎市康生通地内)

○契約金額が高い要因は何か。

○本業務は、図書館交流プラザの空調、電気、給排水設備、吊りもの（ホールの照明器具、バトン）電動稼動観覧席等の設置された諸設備を常駐して総合的に運転管理、保守点検業務を行うものです。

金額が高い要因といたしましては、常駐要員として日中は4～5人、夜間は2人の体制で常駐しており、施設維持管理、電気設備保守点検、空調設備定期点検、給排水衛生設備定期点検、消防設備定期点検、建物衛生管理、建築設備定期点検等、その他関連整備業務等、多岐に渡った業務内容が含まれており、業務量の多さから設計金額が高額となっています。落札率は95%であり特段高いものでもありません。契約金額的には例年どおりの内容となっております。

○落札業者は既存の請負業者か。

○そのとおりです。

9 岡崎駅東土地区画整理事業 都市計画道路柱町線道路築造付帯工事 (岡崎市柱一丁目地内)

○随意契約とした理由は何か。

○本工事は、都市計画道路柱町線道路築造工事に合わせて排水管を設置するものです。

本工事は一般競争入札を行いました。入札参加者がおらず不調になりました。本体工事の工程に著しく影響を与えることができないため、競争入札を実施する時間がなく至急施工が必要な工事です。株式会社畔柳組は、本体工事の代表構成員であり、経費の削減、工事の安全、円滑かつ適切な施工の確保が認められる業者であるため、当該業者と随

○不調になったあとにどのように随意契約にこぎつけたのか。

○随意契約の案件はどのように金額が決まるのか。

意契約を締結したものです。

○入札にかけた工事のなかからどうしても施工しなければならない部分を切り出して、その部分を施工可能な業者に発注をかけました。

○市で積算が行える案件については金抜き設計書を業者に渡し、それに対して業者が市に金額を伝えるという流れです。その際に、市から業者に予定価格は伝えません。